

(様式2)

県立高校指定校事業（平成31年度指定）単年度計画書（令和2年度）

学校名	神奈川県光陵高等学校 (全・定・通)	校長名	小島淳子
指定名	教育課程研究開発校（新たな学習評価に係る研究）		
研究主題	学習効果の最大化を図るカリキュラム・マネジメントを踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習評価の改善		
本年度の研究内容	<p>(1) 本年度の目標</p> <p>本年度の研究テーマを「学習活動の質を高めるための評価（Assessment）を踏まえた単元計画の作成」とした。</p> <p>学習指導要領に示されている、各教科・科目等の「見方・考え方」を働かせた深い学びの実現に向けた単元計画の作成を行う。</p> <p>「学習評価」は生徒一人ひとりの個の伸長を支えるものである。したがって、指導と評価の一体化を図ることで、生徒が自己の学習を振り返ったり、より主体的に学ぶよう学習評価の一層の改善を進める。</p> <p>(2) 目標実現のための具体的な手立て</p> <ul style="list-style-type: none">・知識及び技能の「習得」を基礎として「論理的思考」や「批判的・創造的思考」の育成を目指した効果的な単元計画の作成。・「知っている・できる」「わかる」「使える」レベルの効果的な設定（附属横浜中学校との研究の連関の追究）。・教師の専門性の発揮と探究活動の充実。・「見方・考え方」を生徒が学習や人生において自在に働かせるために、「見方・考え方」自体を養わせるよう支援する。・単元の評価規準の達成をみとる「問い」の作成と効果的な設定、及びその評価。・生徒の学習状況を”分析的”に捉えるものとしての「観点別学習状況の評価」の在り方の検討。・個々の生徒が単元の学びによって資質・能力を育成できたことを自覚できる評価の検討。・資質・能力の育成を目指したICT利活用による種々の教材メディアの活用とその評価。・上記の学びや評価活動を複合させた総合的な探究の時間（KU）の在り方と内容の充実。・本年度の研究テーマに基づいた教職員対象の研修会の実施。・生徒による授業評価に基づいた学習方法、指導方法の見直しと改善。・教職員対象の授業やオンライン授業互観の設定（年2回）と、公開研究授業の実施。・総合的な探究の時間における課題設定について、教科等横断的に課題に関わる内容を扱い、生徒が自身の興味・関心と照らし合わせて課題設定ができるよう支援していく。 <p>(3) 成果の検証方法及び成果指標</p> <ul style="list-style-type: none">・評価規準の作成を通して身に付けさせたい力を明確にし、教職員間で共有している。・全教科および総合的な探究の時間では評価規準を踏まえた上で、生徒の実態に合わせた評価基準を設定し、指導と評価の一体化を図っている。・単元計画を作成する際に、「見方・考え方」を働かせることを念頭において作成することができたか。・生徒による授業評価における肯定的な回答の割合が引き続き一定程度の基準を超えている。・総合的な探究の時間において生徒が多様な課題設定をするとともに、発表をしたり他者の研究内容に触れたりすることで、研究内容をより深め視野を広げる機会を設けている。		
その他特記事項	本校は、横浜国立大学及び横浜国立大学教育学部附属横浜中学校との連携校であり、今回の県立高校改革実施計画を踏まえ、さらに中・高・大連携教育を探究していく。この連携事業と関連付けて本研究の深化も図っていく。		